

いま見える未来は、超えていける。

安田倉庫は、挑戦を続けます。

国境も、従来の物流の枠も超える、ボーダレスなロジスティクスカンパニーへと進化するために。

そして、お客様が思い描く事業と社会の新しいかたちを創造するために。



大和インベスター・リレーションズ 個人投資家向け会社説明会

安田倉庫株式会社（東証一部：9324）

代表取締役社長 藤井信行

2020年9月23日

YASDA

Logistics, Progress, Borderless.

目次

1. 安田倉庫について
2. 成長戦略（長期ビジョンと中期経営計画）
3. トピックス
4. 安田倉庫の株主還元
5. 参考資料

01

安田倉庫について

会社概要

会社名	安田倉庫株式会社 Yasuda Logistics Corporation
所在地	東京都港区海岸3-3-8 (12月に移転予定)
創立	1919年12月20日
代表者	代表取締役社長 藤井 信行 (2018年6月就任)
事業内容	倉庫業、運送業、不動産賃貸業
資本金	3,602,100千円
市場	東証一部 (証券コード : 9324)
従業員数	単体 408名 連結1,512名 (2020年3月期)
連結子会社	14社 (国内10社 海外4社)



移転先 : msb Tamachi
田町ステーションタワーN

企業理念・コーポレートスローガン

安田倉庫グループ企業理念



安田倉庫コーポレートスローガン

Logistics, Progress, Borderless.

お客様と共にグローバルなロジスティクスカンパニーに成長すべく、当社グループが一体となり、その一人一人が従来の事業の枠にとらわれることなく常に発展・成長を続け、物流を進歩させていく決意を表しています。

100年を超える歴史

1919

興亜起業株式会社として創立

安田善次郎と守屋此助による
共同設立

1942

社名を安田倉庫株式会社に改称

芙蓉グループの一員

2005

東証1部に上場

現在の成長ドライバーである
メディカル・IT物流に注力

2014

メディカル物流ユニット・ITキittingユニットを設置
英文商号を「Yasuda Logistics Corporation」へ改称

「Yasuda Warehouse Co.,
Ltd.」より改称

2019

創立**100**周年を迎える

Logistics, Progress, Borderlessを制定
大西運輸・オオニシ機工のグループ化を決定

M&Aによりネットワーク拡充

2020

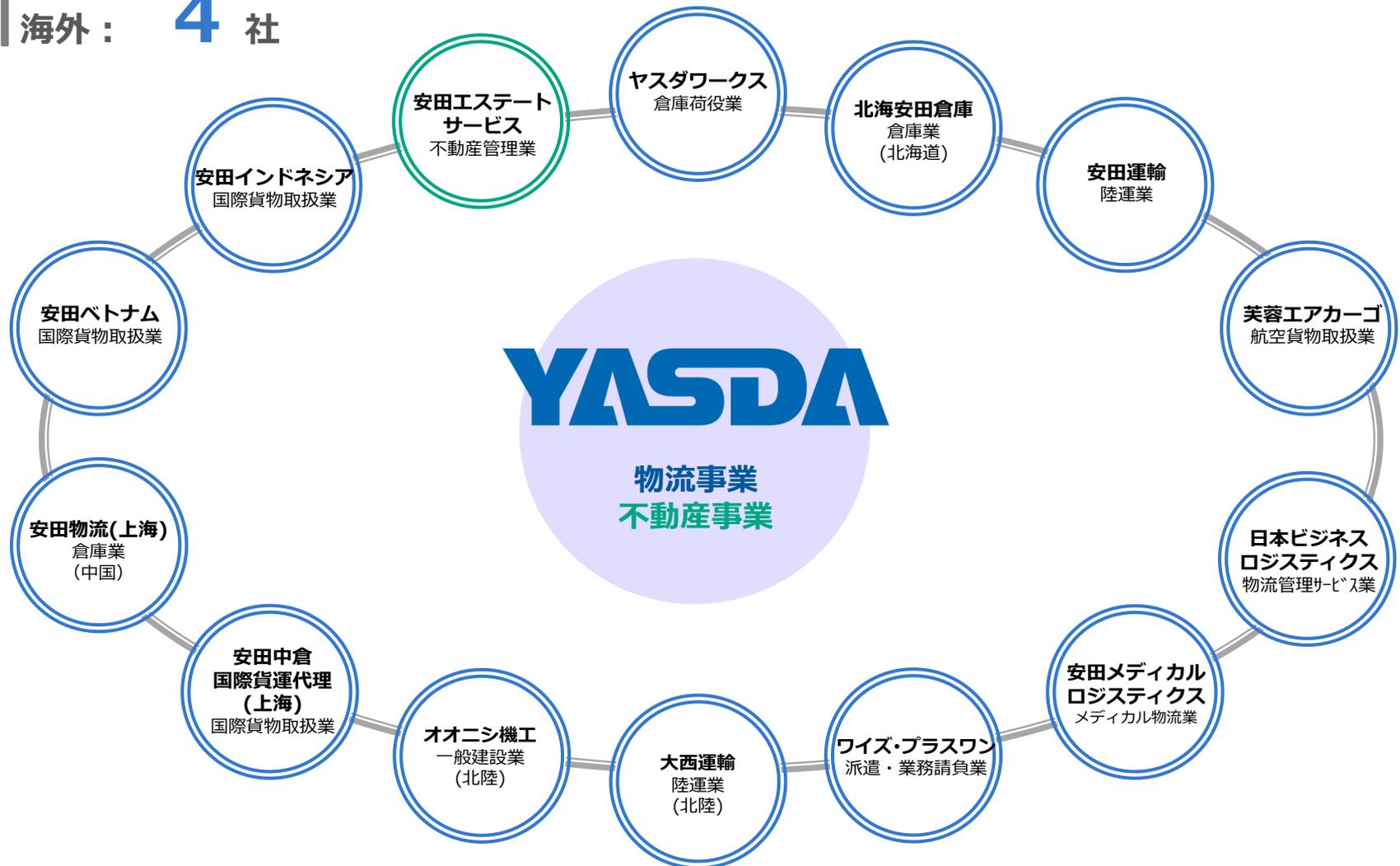
東雲営業所(東京メディカルロジスティクスセンター)開設



安田倉庫グループ

国内：10 社

海外：4 社



強みと優位性

1 | 大消費地(首都圏・関西圏)を中心とした拠点展開と
配送ネットワーク



2 | 満足度の高いサービスによる、グローバル企業や
独自の競争力を持つ企業との安定した取引



3 | メディカル機器・IT機器など高付加価値な製品の
豊富な取扱実績と、蓄積されたノウハウ



4 | 既存物流拠点の再開発(オフィス、ホテル、商業施設ビル)
による安定的な不動産事業展開



日本全国をカバーする国内ネットワーク

東西の主要拠点により持続的なサプライチェーンを提供

● 国内倉庫拠点 計：22拠点

● 関係会社 計：13拠点

関西 拡大図



北海道 拡大図



九州 拡大図



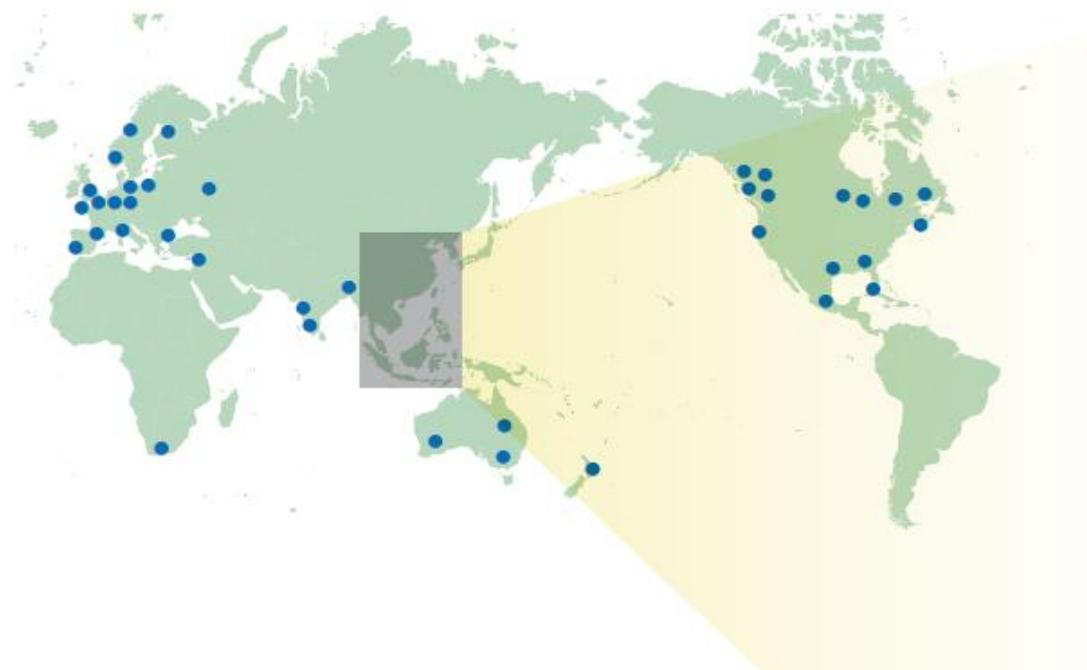
北陸 拡大図



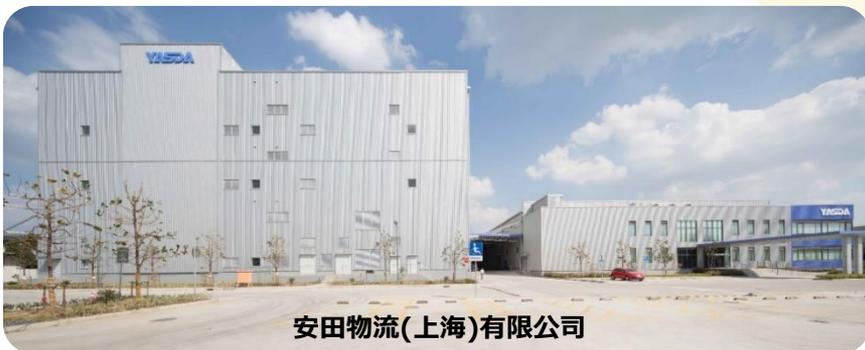
関東 拡大図



中国・ASEANを中心に世界各国へ展開するネットワーク



中国・ASEAN 拡大図 ● 自社拠点 ● 代理店



安田物流(上海)有限公司

様々なサービスを提供する総合物流企業



好立地の拠点群を基盤に 最適なロジスティクスを一括提供

保管



自動ラック

流通加工



ラベル貼り

輸配送



チャーター/共同配送



自動貨物ソート機



検品作業



配車業務



メディカル専門設備、認証・許可、輸配送網 による専門性の高いサービス

専門設備



冷蔵設備・洗浄設備



災害に強い免震構造

認証等



高度管理医療機器等販売業/貸与業許可証



ISO13485(医療機器品質管理)

専用輸配送網



定温輸送容器



医薬品専用車両



情報資産に係る物流サービスを ワンストップで提供

IT機器キitting



PCキitting



スマートフォンキitting

配送・設置



サーバー移設・配送・設置

回収・廃棄



情報資産の回収・廃棄



磁気消去機



文書保管・引越

文書の安全な保管・検索・管理や引越など オフィス関連の要望に細かく対応

文書保管



文書検索サービス

情報管理・配信



文書電子化



鍵付リサイクルボックス

引越



オフィス移転作業



国際輸送

アジアを中心とした世界的なネットワークを活用した国際輸送サービス

国際輸送サービス



海上・航空輸送サービス

特殊貨物取扱 (大型資機材・ハンガ-貨物)



大型資機材輸送サービス

輸出入通関サービス



中国EC物流



ハンガ-輸送サービス



AEO認定通関業者



不動産

ニーズにあった再開発、オフィスビル、住居等 快適な空間をご提供

オフィスビル

ホテル・商業施設ビル



TVPビル



ピアシティ芝浦



第4安田ビル



第5安田ビル



第7安田ビル



ラビスタ函館ベイ

02

成長戦略（長期ビジョンと中期経営計画）

「長期ビジョン2030」の概要

『世界に誇れるYASDAブランドと革新的テクノロジーの融合で
全てのステークホルダーの期待を超える企業グループを目指す』

顧客

他の追随を許さないロジスティクス・ソリューションと
人間力で確固たる顧客満足を獲得する。



株主

高い収益力と強固な財務基盤
により企業価値の向上を図る。

従業員

多様性を尊重し働きやすく且つ
働き甲斐のある職場で従業員が
最大限のパフォーマンスを
発揮する。

社会

事業を通じた環境負荷低減や高い災害強靱性で
持続可能な社会の構築に貢献する。

中期経営計画「YASUDA Next 100」の概要

基本方針

お客様ニーズに多彩なソリューションと最先端テクノロジーで応え、お客様と共にグローバルなロジスティクスカンパニーへと成長する。

基本目標

1. お客様の潜在的なロジスティクス・ニーズを捉えたスピーディーな課題解決
2. 保有不動産の資産価値向上による収益基盤の強化
3. グローバルに渡り合えるグループ経営インフラの確立

営業収益 550億円
営業利益 40億円
経常利益 45億円
営業利益率 7%

基本戦略

経営インフラの高度化

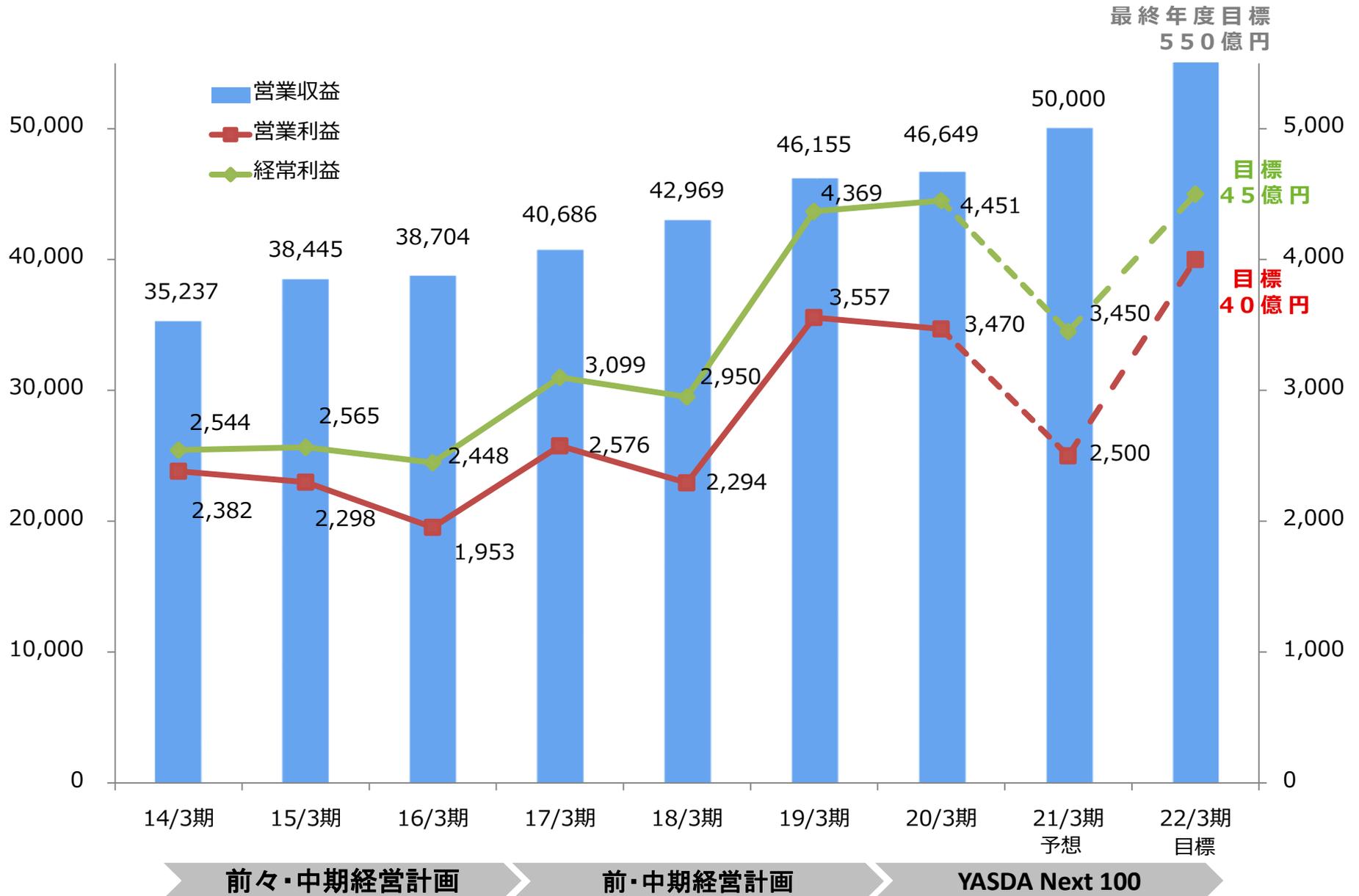


付加価値の高いロジスティクス・サービスの提供

不動産事業の維持・拡大

業績推移（連結P/L）

（単位：百万円）



決算概況（COVID-19の影響）

業界への影響

物流業界 国内貨物・輸出入貨物ともに荷動きは鈍化

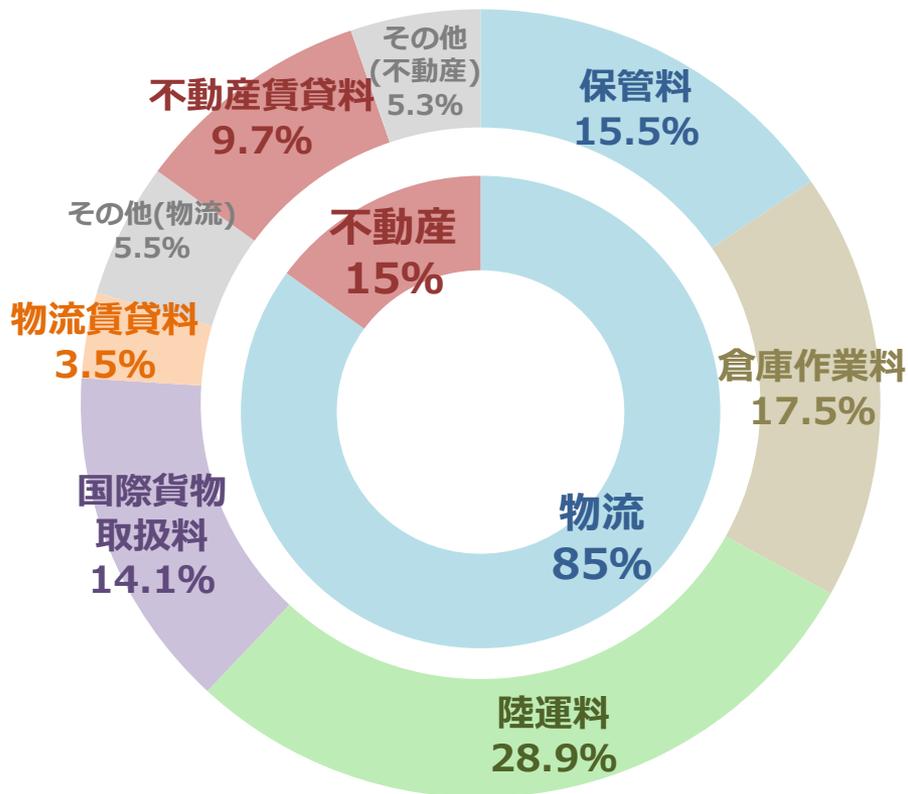
不動産業界 都市部におけるオフィスの空室率に一部上昇傾向

	20/3期 1Q累計	通期業績予想	進捗率
営業収益	11,133	50,000	22.3%
営業利益	624	2,500	25.0%
経常利益	715	3,450	20.7%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	407	2,370	17.2%

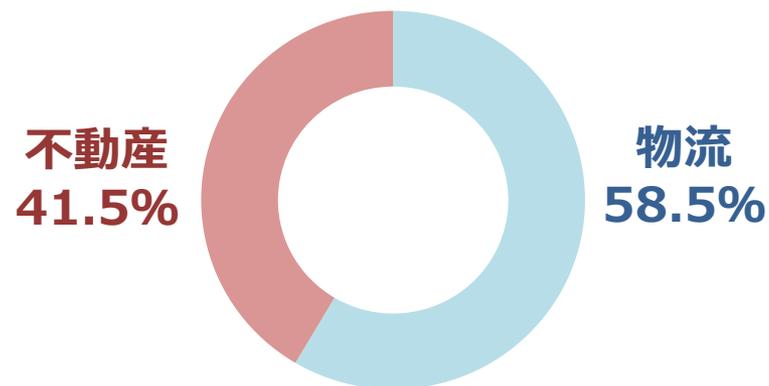
下期以降の回復を見込み
業績予想の修正無し

物流事業と不動産事業によるセグメント区分

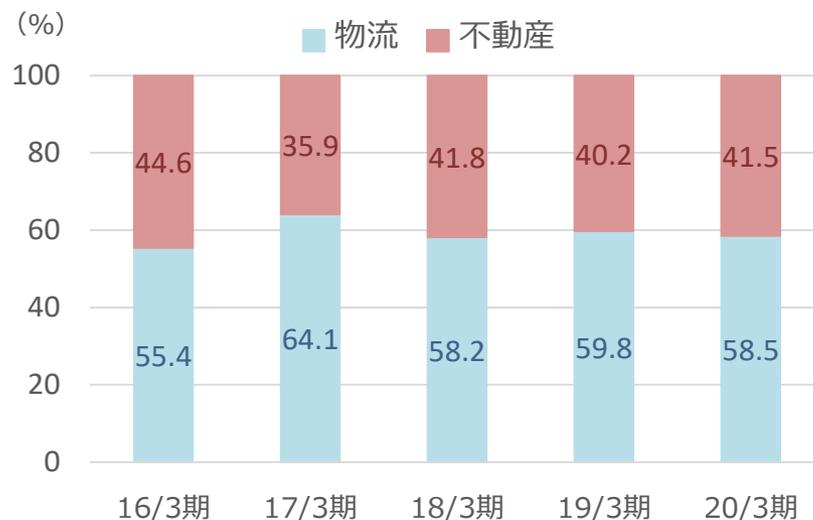
営業収益



営業利益



直近5期の割合動向(営業利益)



(2020年3月期)

03

トピックス

都心にメディカル物流向け倉庫を増強

倉庫外観



名称	東雲営業所 (東京メディカルロジスティクスセンター)
所在	東京都江東区東雲2-13-35
敷地面積	3,286坪 (10,864㎡)
延床面積	6,682坪 (22,089㎡)
主要構造	鉄骨造(CFT造) 地上4階建て
開設	2020年6月

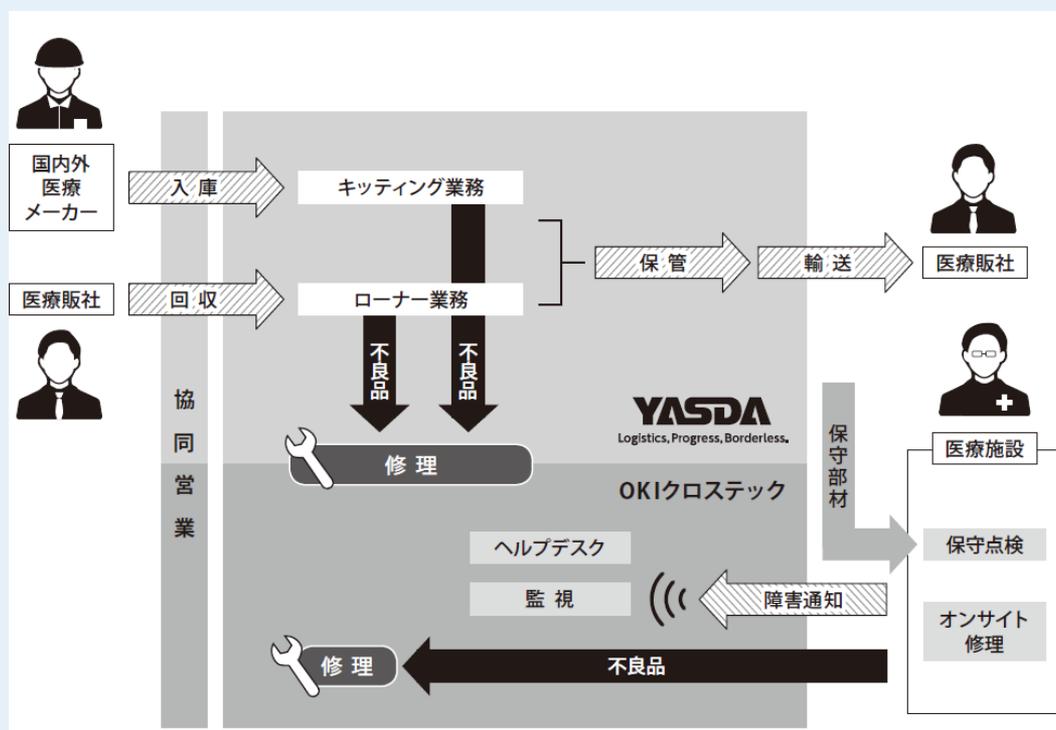
倉庫外観(イメージ)



名称(仮)	辰巳営業所 (東京メディカルロジスティクスセンター)
所在	東京都江東区辰巳3-6-3
敷地面積	約1,600坪 (約 5,200㎡)
延床面積	約5,300坪 (約17,400㎡)
主要構造	鉄骨造 地上7階建て
開設	2020年12月 (予定)

メディカル物流サービスの更なる拡大

OKIクロステック(株)と業務提携



物流事業者として初めて医療機器修理業許可（修理区分 特管第1区分から特管第8区分まで）を取得。

倉庫・物流機能に加えて医療機器の検査・点検・検品・薬事ラベル添付業務、洗浄・廃棄、修理、コールセンター業務、オンライン遠隔監視サービス、AI予兆診断による故障予測適時保守などの高度なサポートサービスを提供します。

医療従事者の業務負荷軽減にも寄与、災害やパンデミックなどの緊急時にも医療業務に集中できる環境整備を支援して参ります。

医薬品製造業を取得

九州営業所にて医薬品製造業を取得。輸入された医薬品原料など出荷判定前の貨物の保管サービスが可能となります。GMP省令に適合した組織体制の構築や薬剤師の採用など、より高品質なメディカル物流サービスを提供いたします。

北陸へ輸送ネットワークを拡大

大西運輸(株)・オオニシ機工(株)をグループ化



安田倉庫グループである安田運輸(株)と連携し、北陸の拠点を活かした
＜関西⇔北陸＞＜関東⇔北陸＞で医薬品等の配送業務を開始いたしました。

財務規律の強化

- 長期発行体格付け（日本格付け研究所）BBB+ から A- へ格上げ
- 第1回無担保社債を発行

総額	100億円
利率	年0.550%
資金用途	借入金返済資金、設備投資資金及び 運転資金

財務規律を維持しつつ
投資を継続

本社の移転

移転先	東京都港区芝浦三丁目118番2他 msb Tamachi 田町ステーションタワーN (田町駅徒歩3分)
移転時期	2020年12月(予定)
移転理由	オフィス環境の改善及びグループ経営の 効率化を図るため

旧日本社は再開発の上
有効活用を検討



| エコシップマーク優良事業者の認定

神奈川県から福岡県までの在庫移動に際し海上輸送を利用することでCO2の削減に貢献。エコシップマークの優良事業者として認定されました。

| ホワイト物流推進運動への参加

トラック運転手不足が深刻になっている現状に対し、物流の改善提案やモーダルシフトなどの取り組みによる効率的なサプライチェーンによって持続可能な物流の実現をめざします。

| 社会貢献活動として本社・海岸周辺の清掃活動を継続して行っております



ESGの取り組み（S）



中国現地学校へのマスク寄付を実施

新型コロナウイルスの全世界での感染拡大に伴いマスクが入手困難となる中、自社倉庫作業員のため用意していたマスクの一部を当社倉庫拠点のある上海の現地中学校へ寄付いたしました。



ESGの取り組み（G）



ガバナンス体制の強化

- 指名・報酬諮問委員会の設置 : 2020年2月
- 執行役員制度の導入 : 2020年6月
- 株式報酬制度の導入 : 2020年6月

今後もガバナンスの強化に努めてまいります。

04

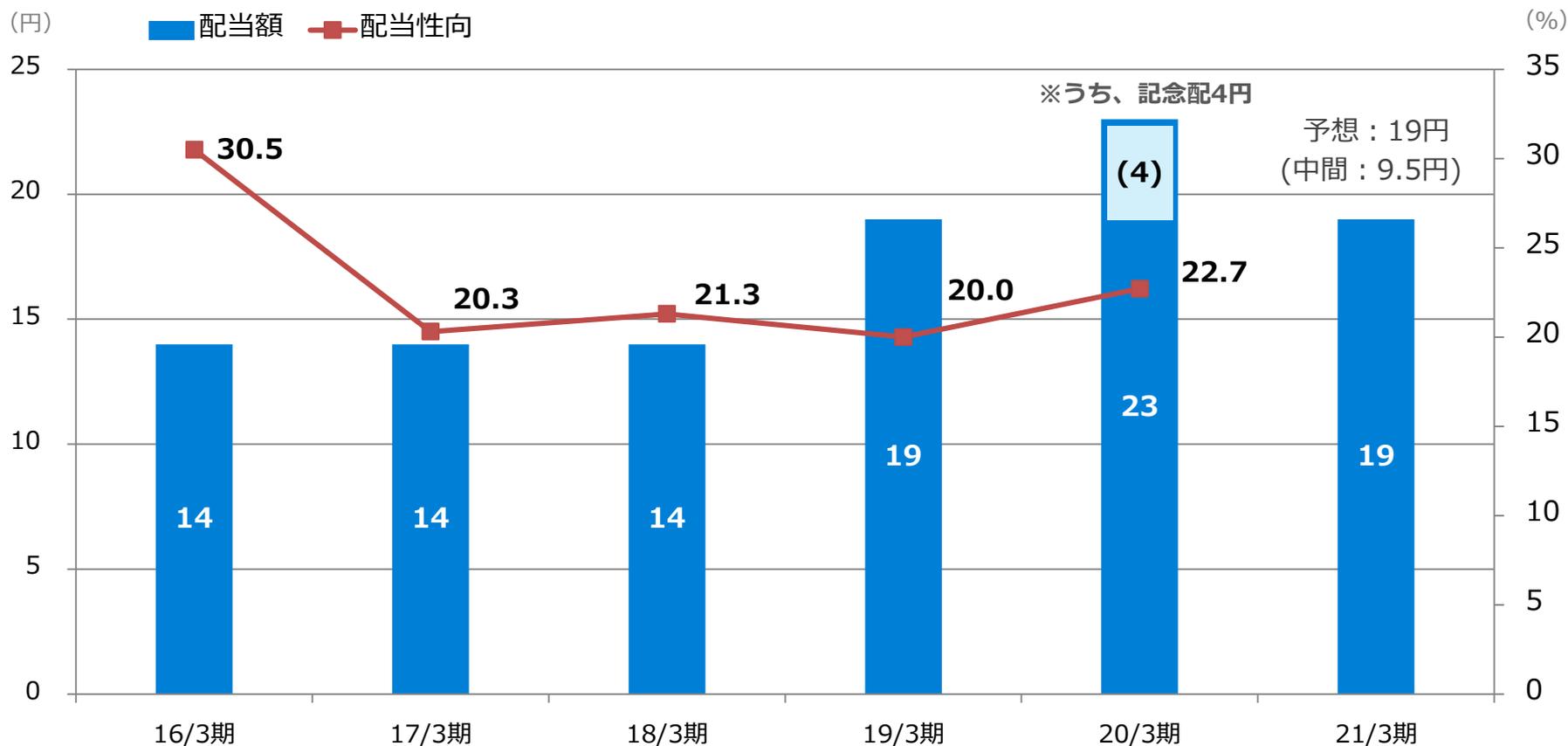
安田倉庫の株主還元

安定配当を基本としつつ利益水準等を勘案し決定

<基準日>

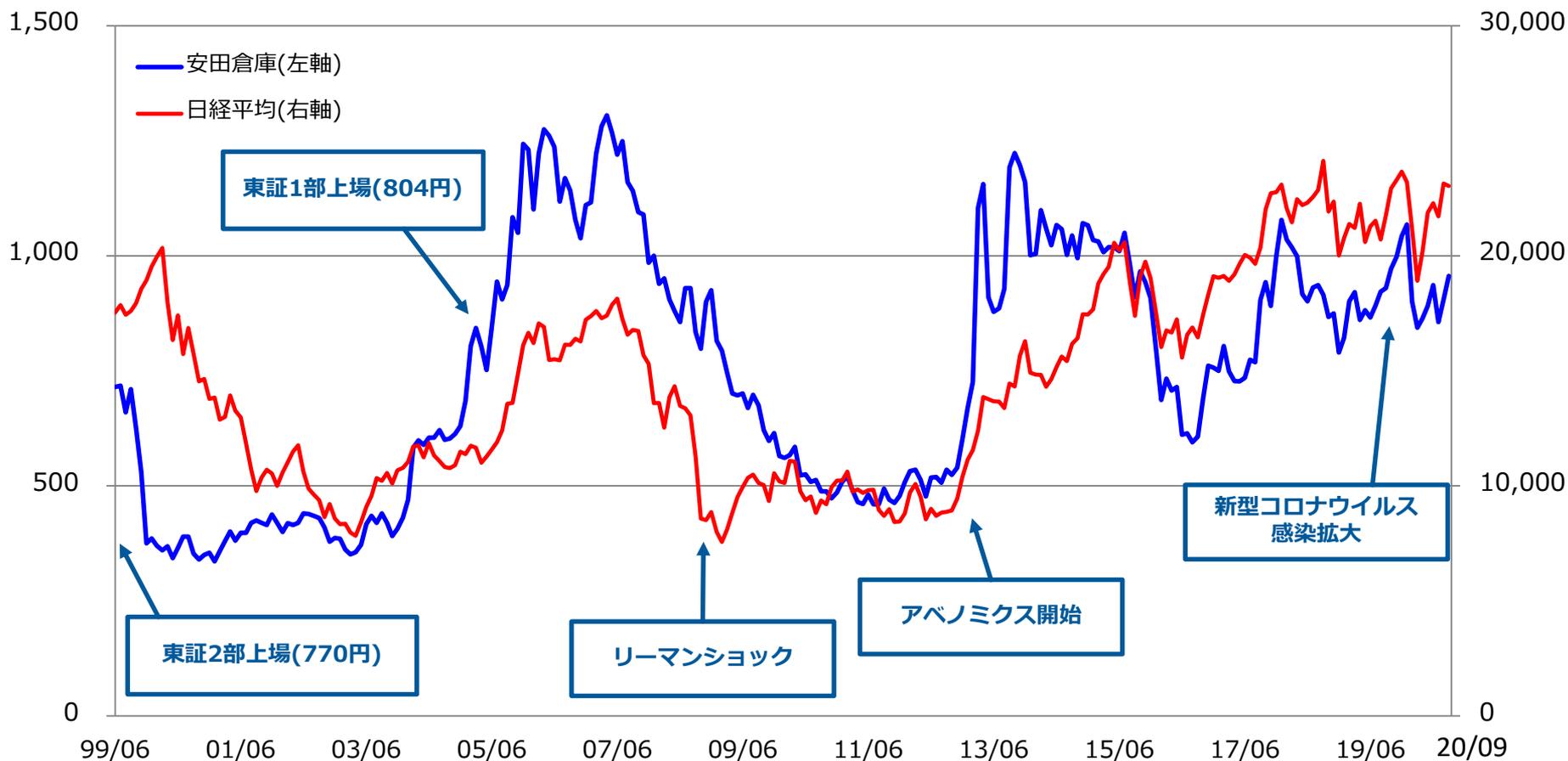
■ 中間配当：9月末

■ 期末配当：3月末



株式状況

(単位：円)



	終値 (9月17日時点)	時価総額 (百万円)	1株利益 (今期予想)	PER	配当 (今期予想)	配当利回り	1株純資産 (2020年3月末時点)	PBR
安田倉庫	962	29,206	81.84	11.75	19	1.98%	2,355.07	0.41

株主優待

3月31日付の株主様を対象に株主優待を年1回実施

ご所有株式数

100株以上～1,000株未満

1,000株以上～5,000株未満

5,000株以上～

優待品

お米券 2kg

お米券 5kg

お米券 10kg



なお、株式会社共立メンテナンス様のご協力により
単元株以上を保有されている株主の皆様に
「ラビスタ函館ベイご宿泊優待券」をお届けしております。



当社ホームページを是非ご覧ください

<http://www.yasuda-soko.co.jp>

TOPページ

個人投資家の皆様へ

100 YASUDA 安田倉庫株式会社
Logistics, Progress, Borderless.

事業案内 会社情報 IR情報 採用情報 お問合せ

Search JP EN

Next 100

いま見える未来は、超えていける
Logistics, Progress, Borderless.

MESSAGE

メッセージ

当社は、2019年12月20日に創立100周年を迎えました。この記念すべき100年という節目の年を迎えることができましたのも、これまでさまざまな形で私たちを支えてくださったお客様・ご関係の皆様のおかげであり、厚く御礼申し上げます。今後とも、なお一層のご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

もっと見る

INFOMATION

インフォメーション

すべて PR情報 お知らせ IR情報 採用情報

2020/09/01 IR情報 安田倉庫株式会社第1回無担保社債(社債発行額定額特約付)の発行について

100 YASUDA 安田倉庫株式会社
Logistics, Progress, Borderless.

事業案内 会社情報 IR情報 採用情報 お問合せ

Search JP EN

個人投資家の皆様へ

安田倉庫株式会社 > IR情報 > 個人投資家の皆様へ

安田倉庫についてより深くご理解いただけるよう、様々な情報を掲載しております。

安田倉庫とは

安田倉庫株式会社は、1919（大正8）年の創立以来、首都圏・関西圏の好立地倉庫拠点を基盤とする総合物流サービスを展開しています。また、東京・横浜地区での不動産事業も手掛けており、収益の柱となっています。近年は、中国・ベトナム・インドネシアなど東アジア・東南アジアに係わる事業展開を強化するとともに、従来の倉庫・物流サービスの枠にとどまらない多彩なサービスメニューをお客様のニーズに合わせて提供しています。



- トップメッセージ
- 事業紹介
- 安田倉庫の強み

社長の藤井 信行より皆さまへのご挨拶です

安田倉庫の事業についてご紹介します

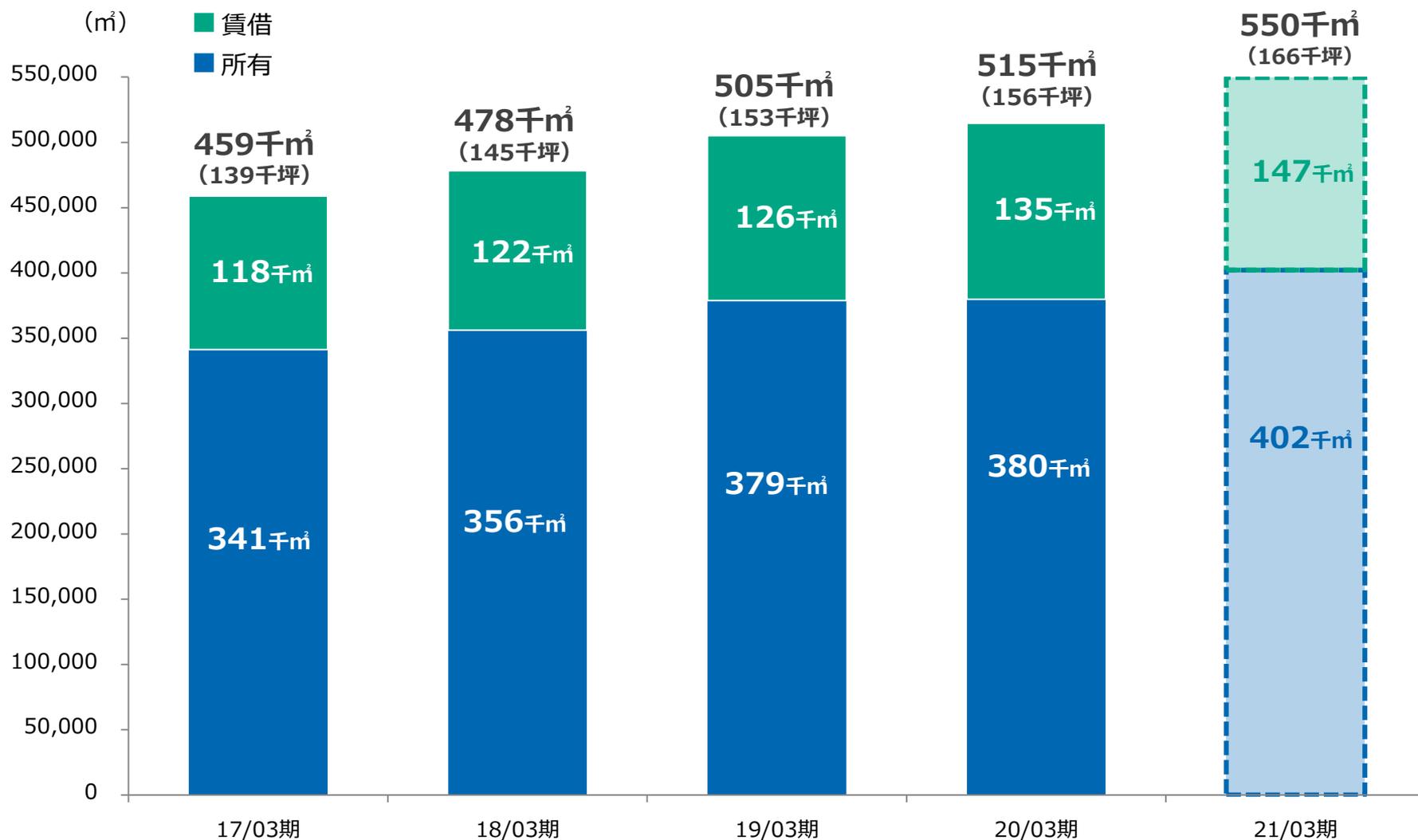
安田倉庫の強みについてご案内します

IR情報	
長期ビジョン・中期経営計画	
コーポレート・ガバナンス	
財務ハイライト	
IRライブラリー	+
株式の概要	
株価情報	
配当・株主優待情報	
株主総会情報	
IRニュース	
IRカレンダー	
電子公告	
業界データ	

05

参考資料

物流事業施設面積推移

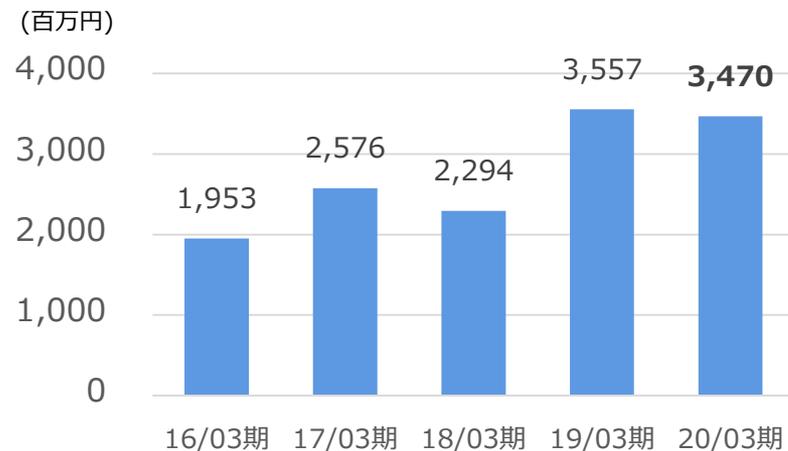


業績推移（連結）

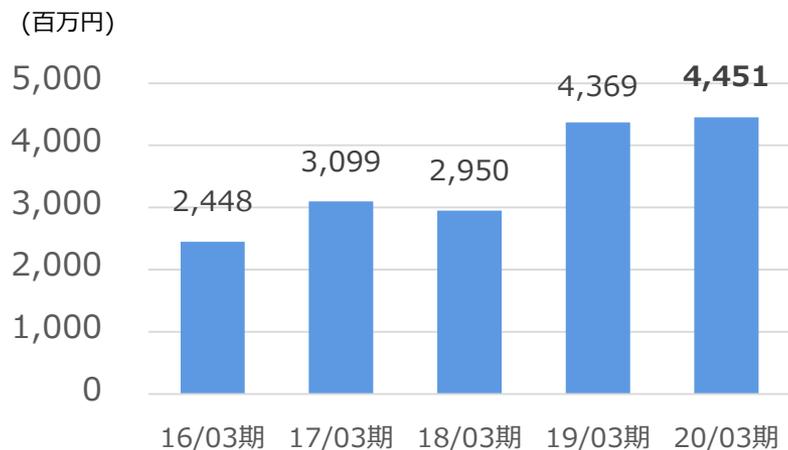
営業収益



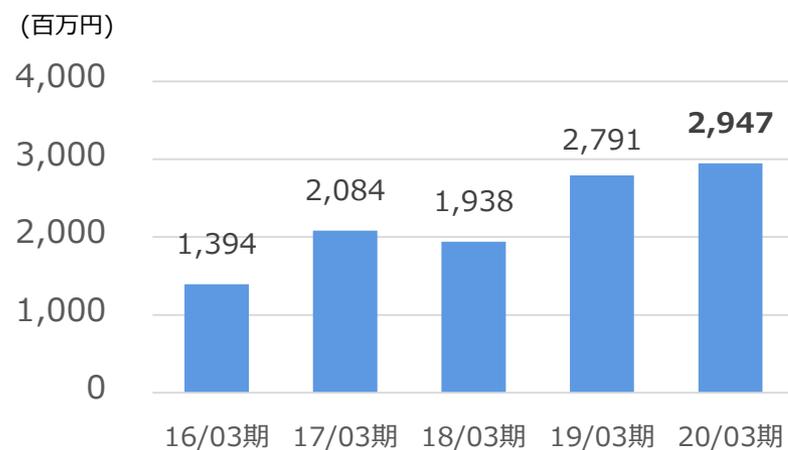
営業利益



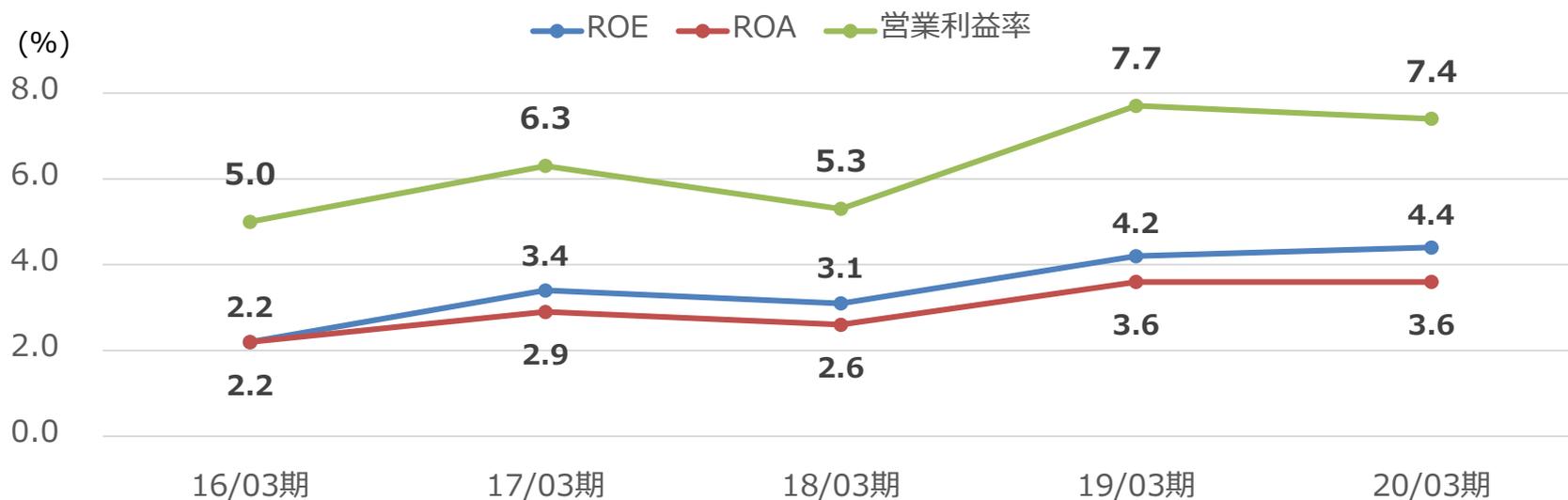
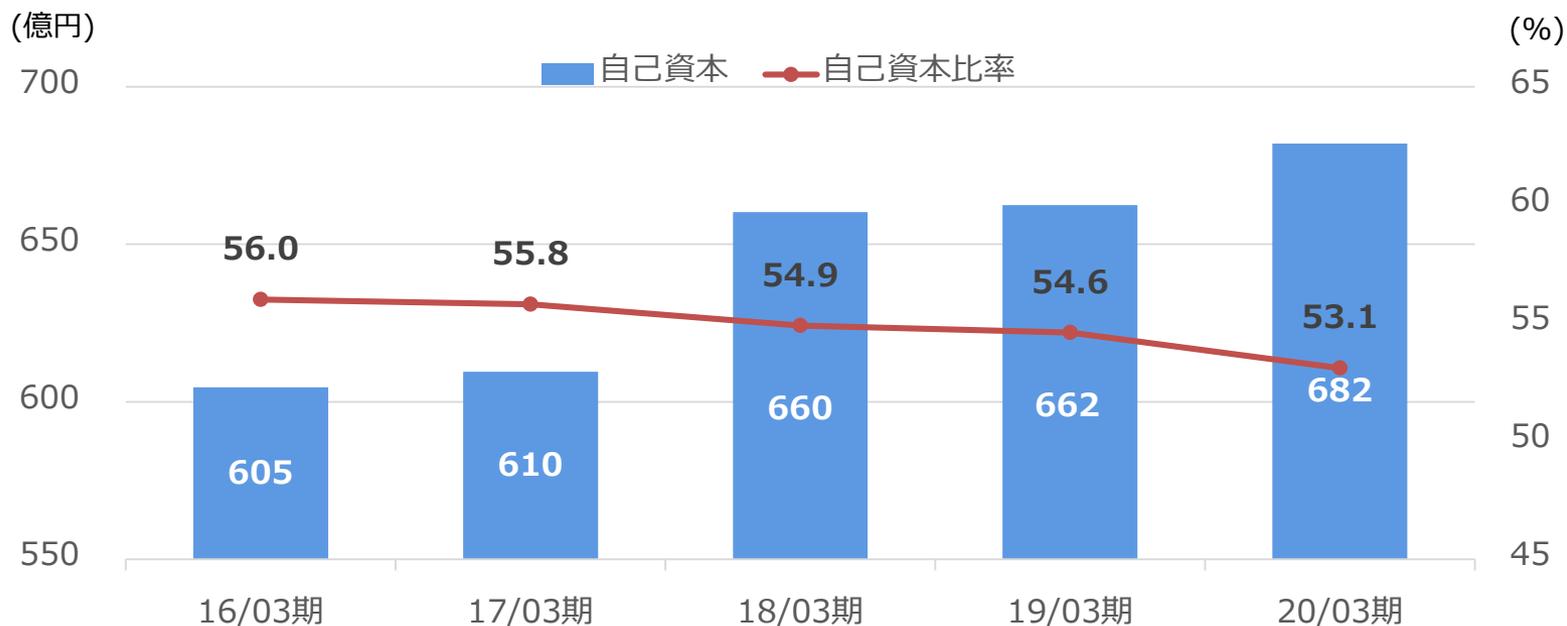
経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



財務基盤



いま見える未来は、超えていける。

安田倉庫は、挑戦を続けます。

国境も、従来の物流の枠も超える、ボーダレスなロジスティクスカンパニーへと進化するために。

そして、お客様が思い描く事業と社会の新しいかたちを創造するために。



創立100周年、安田倉庫グループは新スローガンと共に前へ踏み出します。

Logistics, Progress, Borderless.

YASDA

安田倉庫株式会社

当資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。当資料は、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。

将来の業績は、経営環境等の変化に伴い、目標や計画に対し変化し得ることにご留意下さい。

投資を行う際には、必ず弊社が作成する有価証券報告書等をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。